

## 第65回愛知県国土利用計画審議会会議録

### ○日時

平成31年1月25日（金） 午後3時から午後4時10分まで

### ○場所

愛知県議会議事堂1階 ラウンジ

### ○出席した委員（五十音順敬称略）

天野正基	生田京子	内田智美	岡本大忍
河合勝正	倉持香苗	千田勝隆	武田美恵
中川弥智子	中塚正輝	中村健	秀島栄三
増田理子	三浦孝司	宮脇勝	

（15名）

### ○出席した幹事

振興部土地水資源課長（事務局兼務）	政策企画局企画課長（代理）
環境部自然環境課長（代理）	産業労働部産業立地通商課長（代理）
農林水産部農業振興課長（代理）	農林水産部農地計画課長（代理）
農林水産部林務課長（代理）	農林水産部森林保全課長（代理）
建設部都市計画課長（代理）	建設部道路維持課長（代理）
建設部河川課長（代理）	建設部住宅計画課長（代理）
建設部建築指導課長（代理）	企業庁工務調整課長（代理）
企業庁研究施設用地開発課長（代理）	

### ○出席した事務局職員

振興部長	野村知宏
振興部土地水資源課長	桑原良隆
振興部土地水資源課主幹	梶田浩昭
課長補佐	鈴木系一
主任主査	田村豊
主事	小久保千佳
主事	三田彩加

1. 開会（事務局：桑原土地水資源課長）

2. あいさつ

野村振興部長

3. 議題

（1）会長の選出について

委員の互選により、秀島委員が会長に選出された。

秀島会長は、増田委員を会長職務代理者に指名した。

秀島会長は、中塚委員及び宮脇委員を会議録署名人に指名した。

（議題（1）終了後、天野委員退席）

（2）愛知県土地利用基本計画の変更について

ア 説明

資料により、鈴木土地水資源課長補佐が変更案について説明した。

イ 質疑

（増田委員）

様々な農業用地が、開発で工場用地や住宅地になったりしていますが、この開発された農地を見てもみますと、既に東海農政局の農業整備で用水が通って、大規模農地として一度整備されたところが結構あると思います。

そうやって、国の税金を使って農地を整備したところを、開発で工業用地にされたり住宅地に転用されることについては、この会議では何も言ったりすることはできないのでしょうか。開発されてしまったから、しょうがないから変更しますよねというようなことになるのはいいのでしょうか。

（農業振興課）

農業基盤整備事業がされているにもかかわらず、都市的な整備事業をするのはどうかという御意見がございしますが、法律上の規定を申しますと、8年という縛りがございまして、その8年を超えた場合は、基本的には法律の制限はなくなります。ただ、それでよしというわけではなく、しっかりと見極めながら判断をしております。

（増田委員）

こういう農業用地にされているところは、農業用水の供給源と排水池を、住宅地とか工業用地のようにしているわけではなく、溢れてもいいというような状態で、雨が降ったときには溢れますよとか、そういった災害に対して、あまりきっちり排水システム等が整っていないと思うのですが、それに関してどのような対策をされているかとか、こういった会議等では考えなくてもいいのでしょうか。

(県都市計画課)

今回の案件は、開発されたところ、これから開発するところ、いろいろございますけれど、基本的には、治水とかそういった方面とは調整させていただいております。市街化区域に編入して問題がないということで調整させていただいたものを上げさせていただいております。

ウ 結論

(秀島会長)

知事からの諮問に対し、異議がない旨答申する。

(3) 国土利用計画の改定について

ア 説明

資料により、梶田土地水資源課主幹が説明した。

イ 特別委員会の設置及び委員の指名

調査審議を円滑に進めるため、審議会条例第2条第4項に基づき、特別委員会を設置することとし、生田委員、倉持委員、武田委員、中川委員、秀島委員、増田委員、宮脇委員を特別委員に指名した。

ウ 質疑

(宮脇委員)

地籍調査の実施状況が、著しく全国より低いという御説明でしたけれども、その理由が分かっているならば教えてください。

(事務局)

先ほど説明しましたとおり、愛知県の進捗率は13%でございます。

ただ、この傾向は、都市地域、関西だと大阪だとか、首都圏の神奈川、そういったところも含めて、全般的に都市の地域はどうしても低くなる傾向がございます。

その理由といたしましては、まず、土地の価格が高いため、所有者の権利者意識が非常に強く、なかなか地籍を確定する調査が進まないといったようなことが考えられております。

本県でも地籍調査については、できるだけ前に進めようと思ってございまして、県内全市町村に対して、この3年間で、地籍調査を実施するような働きかけを行ったりもしてございます。

(岡本委員)

空き家のデータですが、最終が平成25年となっておりますが、確か25年に調査をして5年おき見直しで、31年度に新しい空き家の数等が公表されるという話を聞いておりますが、そのあたりは何かお聞きしますでしょうか。

(事務局)

空き家の調査が行われているということは聞いてございます。ただ、

まだ公表されておられませんので、この資料には反映させることはできません。

今回、平成29年を基準年次にして国土利用計画の改定を行います。データで入手できるものはできるだけ最新のものを収集してやっていきたいと思っております。

(岡本委員)

現実的には、今、1000万戸は必ず超えているというような情報を我々つかんでおまして、54市町のうち20市町と空き家対策の提携を結びまして活動をしているのですが、できるだけこちら辺の数値が早めに公表されるとありがたいなと思っております。

(事務局)

委員にもご協力をいただきながら、また、ご指摘をいただきながら進めてまいりたいと思っております。

#### 4. 閉会（桑原土地水資源課長）